

はぐくむ光のびる若芽

113

虫生 伊藤ひふみ

わが家は、祖父母、中3と小4の娘、私共夫婦の6人家族です。それぞれが自分の生活のペースを大切にしつつ、助け合っている家族だと思いま

す。そんな家庭に、6月下旬、アメリカから17歳の女の子がホームステイでやってきました。初めの頃は、時差の疲れや慣れない日本の生活のため難しいと感じ、日本への興味も示さず、自国の自慢話に終始していました。私たち夫婦は日頃、表現する力や意志の伝達にやや困難な面を示す子供たちに接していますので、今度も、根気良く、温い気持ちで接するよう努めました。乏しい英語力ですが、明るく、動作を交じえての会話でアタックしました。下の娘は全く英語ができないのに、一緒に折り紙を楽しんだ

たくさんの友人を得て、心の広い人になり



伊豆箱根への旅・城ヶ崎公園にて

り、和英辞書で必要な単語を指示して意志の伝達を行っていました。また、戸外での活動を多くし、実際の日本人のこなすことを理解してもらえよう援助しました。伊豆・箱根への旅行、東京はとバスツアー、ディ

ズーランド、銚子での魚つり、成田祇園祭、国立歴史博物館見学など多様な場所へ案内し、家でも、七夕祭りを行なったり、日本のポピュラーソングやアニメの紹介をしたりしました。さらに、親しさは食事とともに倍増するという信念から、食事には力を入れまし

た。一週間もすると、仕事から戻った私に、「今日の夕食は何？」と尋ねるようになりました。これらの経験を通して、わが家では、人と人との理解は、言語だけではなく、様々な活動を通しての心の交流が大切であると改めて実感できました。日頃から多忙なわ

が家では家族が一緒に過ごせる時間を大切にしてくださいました。仕事はほとんど家庭に持ち込まないよう努力しています。働くことはとても大切なことですが、子どもが将来自分の子供の理解できる範囲で語るようにしています。子供たちが将来自分の仕事に誇りを持ち、日本中に友人のいる私たち以上に多数の友人を得て、心の広い人になって欲しいと思います。



家庭看護のポイント

④ 入浴

●入浴時の注意

入浴は、からだを清潔にするばかりか、入浴後の爽快感は清拭とは比べものになりません。また、入浴時

には全身状態、とくに床ずれなどの皮膚の変化もチェックできます。

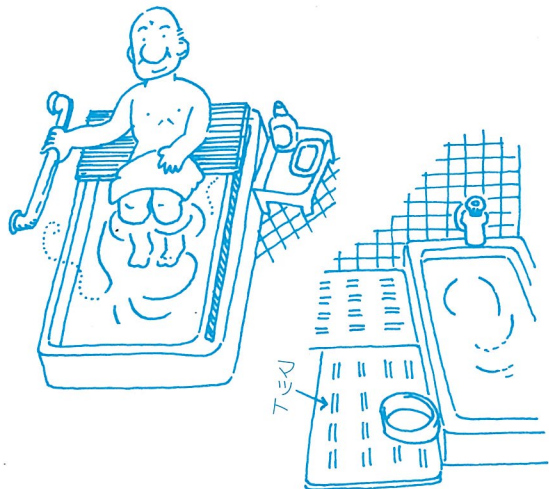
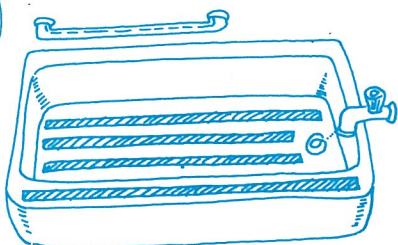
入浴は熱のあるとき、脈拍が1分間に100以上るとき、体調のすぐれないとき、空腹時あるいは食事の直後は避けましょう。

入浴時間は10～15分位で、お湯の温度は40度ぐらいにします。入浴させる部屋は寒い時期には、22～23度位に暖かくして、湯ぎめをさせないようにしましょう。全身浴ができない場合はからだの一部だけ湯につける部分浴もよいでしょう。汚れも落ち、血液の循環もよくなります。

浴室の床は滑りやすいため、滑り止めマット等を敷き、壁に手すりを取り付けるなど、転倒防止の配慮をしましょう。

●ふろ場の工夫

浴槽は半分埋め込み式であまり深くないものが理想的。さらに、浴槽の底に滑り止めテープをはると安全です。浴槽が深い場合には中に水に浮かさない重い椅子を置いて腰をかけるようにしましょう。また、洗い場に木の椅子を用意して、一度腰かけてから入るようにするとからだの安定が保てます。



また、障害があり、家庭のお風呂に入るのが困難なお年寄りには、特殊浴槽を利用したデイサービスを実施しています。ご利用になりたい方は、役場住民福祉課福祉係（☎1211内線156）に申請してください。